

# Outline

## 計画概要

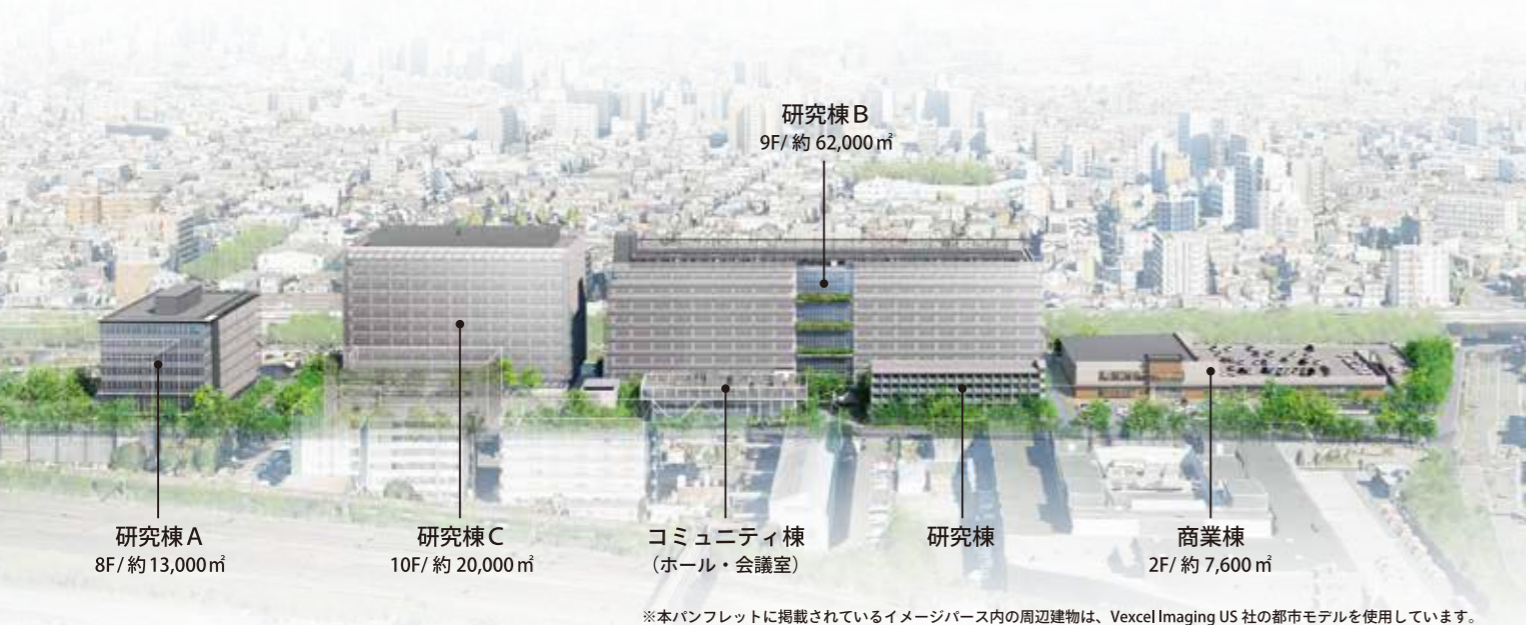
所在地 神奈川県川崎市川崎区南渡田町13番1の一部  
 交通 | 電車 JR南武支線、鶴見線「浜川崎」駅 徒歩約3分\*  
 | バス JR「川崎」駅より約15分、各停留所から徒歩約1~3分\*  
 | 車 羽田空港から約14分\*  
 ※計画敷地まで  
 総敷地面積 約56,000㎡ (5.6ha、渡田ビル含む)  
 総延床面積 約107,000㎡ (研究棟合計: 約95,000㎡)  
 建物構成 研究棟 商業棟  
 竣工年月 2027年度後半

# 次世代テクノロジーの未来を切り拓く 南渡田北地区北側開発プロジェクト

## Specification

### 貸室 / 設備仕様

基準階面積 約6,700㎡ (約2,000坪)  
 階高 1階: 6,000mm、2階: 5,500mm、基準階: 4,300mm  
 床荷重 1階 1,500kg/㎡、2階: 1,000kg/㎡、基準階: 500kg/㎡  
 電気容量 単相 100/200V 200VA/㎡  
 三相 200V 200~250VA/㎡ (1階のみ最大520VA/㎡)  
 ※空調用含む、非常用電源15VA/㎡専用部供給可  
 各区分引込済  
 給水 2系統 (実験 / 一般) 各区分引込済  
 排水 1基 (積載荷重4,000kg) ※サイズ (mm) W2,500×D3,000×H3,000  
 搬出入EV 危険物 / 実験用高圧ガス取扱可 (種別・量は要相談)  
 その他 P2/BSL2 対応可



# 南渡田地区 新産業拠点形成プロジェクト



Inquiry お問い合わせ先 《ご不明な点をご気軽にお問い合わせ下さい》

南渡田北地区北側開発プロジェクトに関すること



産業インフラ部 担当: 田蔵、高岸、勝田、占部  
TEL: 03-6803-5882 MAIL: rental\_lab@hulic.co.jp

南渡田地区全体の計画等に関すること



臨海部国際戦略本部 担当: 下田、稲葉、岩田  
TEL: 044-200-0764 MAIL: 59tochiten@city.kawasaki.jp

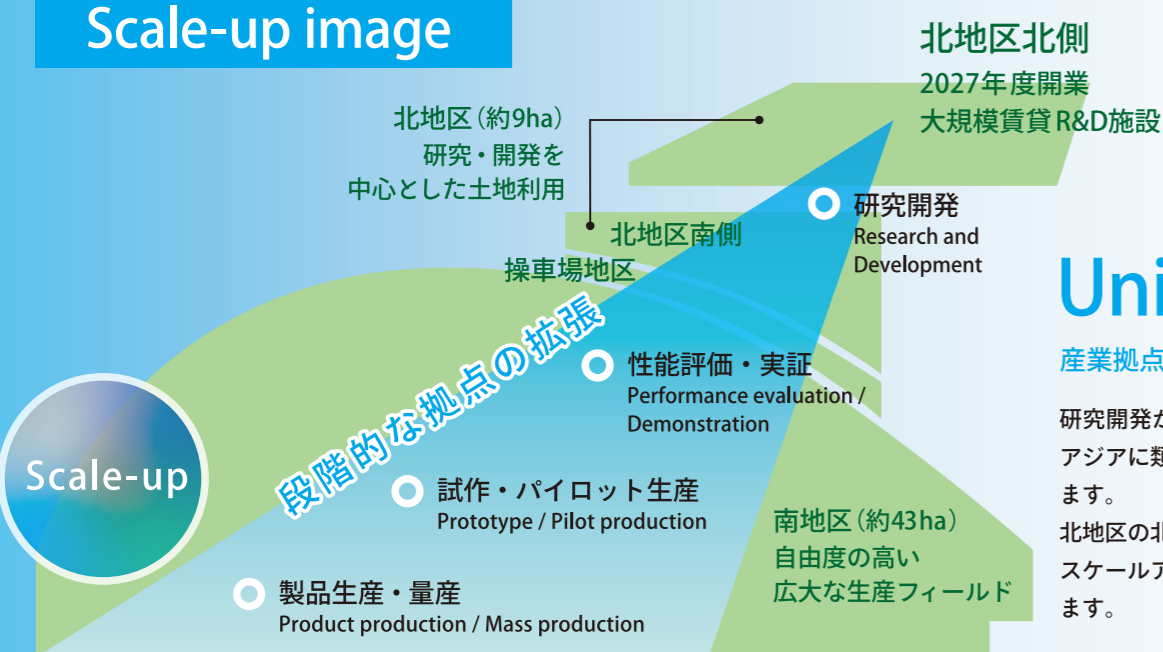
# 世界を変える唯一無二の スケールアップ産業拠点



## マテリアルから世界を変える産業拠点に

現在、川崎臨海部では、約 400ha の土地利用転換が進行しています。川崎市ではこれを「次の 100 年を切り拓く取組」と位置づけ、国の重点課題の解決や産業競争力強化に繋がる土地利用の実現を目指しています。

### Scale-up image



## Uniqueness

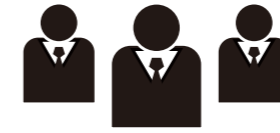
### 産業拠点としての独自性

研究開発から生産までを一気通貫で実現する、アジアに類を見ない世界的な拠点を目指しています。北地区の北側から事業を開始し、その後も順次、スケールアップが可能な拠点整備を進めています。

## Advantages

唯一無二の立地優位性

都心アクセスを活かした人材確保



- ☑川崎駅からバスで15分
- ☑東京駅まで約30分
- ☑高度な人材や企業が集まる絶好の立地

グローバルな事業展開が容易



- ☑羽田空港へ車で14分
- ☑比類なき好アクセスで国内外に移動可能
- ☑アジアのハブとして世界的な企業・研究機関と連携

自由度と拡張性のある操業環境

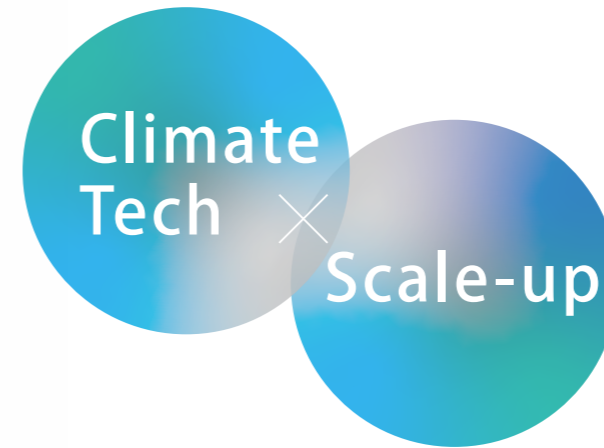


- ☑工業地帯のため市街地では困難な研究開発、実証実験、生産を思う存分に実現可能
- ☑首都圏にしながら広大な敷地で操業可能

### 川崎臨海部の基礎情報

面積	約 2,800ha
事業所数	約 2,700
従業者数	約 71,000人
製造品出荷額	約 4兆円
基幹的産業	石油化学、エネルギー、物流、鉄鋼

- 京浜工業地帯の中心に位置し、重化学工業を中心に発展
- ライフサイエンス分野の世界最高水準の研究開発機能が集積
- 新陳代謝を繰り返しながら、今後も「豊かさを実現する産業が躍動」し「多様な人材や文化が共鳴」する地域を目指す
- エネルギーの省力化と水素活用を基に廃プラや炭素資源から素材・製品を作るカーボンニュートラルコンビナート化を推進



クライメートテックを社会実装する  
スケールアップ拠点

## Concept

### 拠点コンセプト

臨海部で培われてきた素材産業の資源や歴史・風土を生かし、「クライメートテック（気候変動対策に焦点を当てた技術・ビジネス）」において唯一無二のスケールアップ拠点を目指します。

## Ecosystem

### 拠点の価値を生むエコシステム

南渡田地区を、イノベーションを創出し続ける世界規模のハブへと成長させるために、産学官の多様なプレイヤーとの連携体制を構築します。

